

令和4年度 第1回櫛引地域振興懇談会 (会議録・要旨)

○日 時：令和4年8月30日(火) 午後2時から午後4時00分まで

○会 場：櫛引庁舎 第一会議室

○出席者：敬称略

(出席委員) 小林 幸一、小林 隆、安野 良明、井上 実、
佐藤 正幸、秋山 彌里、清和 ふみ子、本間 与一、
宮城 妙、馬場 合、菅原 とり子

(欠席委員) 釧持 康光、富樫 勉、上野 由部、重松 美鈴

(市側) 企画部地域振興課地域振興専門員 齋藤 眞一、地域振興課主事 佐藤 千恵
櫛引庁舎支所長 天然 せつ

総務企画課長 前田 郷子、市民福祉課長 佐藤 栄一、産業建設課長 熊坂 誠、
総務企画課課長補佐(兼)地域まちづくり企画調整主査 遠藤 直樹、
市民福祉課課長補佐 佐藤 千冬、産業建設課課長補佐 齋藤 秀一郎、
総務企画課未来事業推進員 渡部 尚美

(傍聴) 2名

— 次 第 —

[委嘱状交付] 代表者に交付

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告

(1) くしびき温泉ゆ〜Townの利用状況等について(資料1)

(2) 櫛引地域デマンド交通の利用状況について(資料2)

4 協 議

(1) 櫛引地域まちづくり未来事業について(資料3及び別冊資料)

5 情報提供

(1) 生涯学習センターの耐震改修事業について(資料4)

(2) 広域コミュニティ組織の検討について(資料5)

6 そ の 他

7 閉 会

.....

— 委嘱状交付 —

総務企画課長

今日はみなさんお忙しいところお疲れ様でございます。開会に先立ちまして公共団体を代表する

方が交代し、新たに3名の方に委員をお願いいたしますので、委嘱状の交付を行います。代表いたしまして委員名簿2番の櫛引自治公民館連絡協議会会長の小林様にお渡しいたします。小林様その場にお立ち下さい。

今回交代により新たにお願いした出羽商工会櫛引支部代表理事の富樫様、老人クラブ連合会櫛引支部支部長秋山様には、お手元に委嘱状を置いてございますのでお受け取り下さい。尚、富樫様につきましては今日午前中に電話がありまして急遽欠席ということでご報告をいただいております。

尚、委員の任期につきましては令和5年3月31日までとなりますが、よろしくをお願いいたします。

1 開会

総務企画課長

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。最初に資料の確認でございますが、事前送付させていただいた資料一式、資料1から資料5までと別冊の計画書でございますがみなさんお持ちでしょうか。もしお忘れの方、資料が無かった方がいましたら申し出いただきます。事務局の方で準備致しますのでお知らせください。また当日配布の資料として次第、出席者名簿一式と鶴岡市地域振興懇談会設置要綱を配布しております。皆さま机の上にありますでしょうか、ご確認をお願いいたします。大丈夫でしょうか。それでは委員の皆さま方にはご多用の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。本日は委員15名のうち11名のご出席をいただいております。また当懇談会は公開会議としていますが、傍聴2名申し込まれておりましたが、今現在まだ来られていない状況であります。

ただ今から、令和4年度第1回櫛引地域振興懇談会を開会いたします。

最初に、当懇談会会長の小林幸一区長会長様よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ

会長

本日はお忙しい中での会の出席誠にご苦労様でございます。第7波と言われているコロナウイルス感染症、夏休み、それから盆の帰郷等々合わせて感染が拡大し現在も高止まりしている状況であります。最近はなぜか近くにコロナウイルスが押し寄せて来たような感すらいたします。昨日の鶴岡市の感染者は71名ということでございました。100人を切りますとなぜか少なくなったような感もしますが、昨年ですとこのような数字ですと、会議等は出られないような状況下にあったように思います。今日も3時半過ぎには、各市町村の感染者数が県から発表なるという事ですが、本日の感染者数県全体、それから庄内保健所管内の感染者数は昨日の倍というような状況のようでありますので、今日も100人を超えるのではと心配しているところです。さて本日は、令和4年度の第1回の櫛引地域振興懇談会ということでございます。例年ですと懇談会年2回ほど開催されて、今日はその1回目で、2回目は年度末ということに

なります。本日の協議については、説明、報告に始まり協議、情報提供等々まで盛沢山説明があるようです。令和4年度はもう5ヶ月経過しているという状況です。皆さまからは事業の進捗状況、それから内容等についても常日頃考えているようなことを忌憚なくご意見をいただきまして、櫛引地域全体に亘ってのご意見、ご指摘をいただければと思っております。限られた時間ではありますが、なるべく時間内に閉めたいと思っておりますが、4時ころになりますといつも議論白熱ということで気を付けながら進めたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

総務企画課長

ありがとうございました。次に櫛引庁舎天然支所長より挨拶を申し上げます。

支所長

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中「第1回櫛引地域振興懇談会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、皆様には、日頃から櫛引地域の振興発展のために、それぞれのお立場で大変ご尽力いただいておりますことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

ただ今、所属団体の代表の交代により、今回から新たに委員となられた、3名の方に委嘱状を交付いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

さて、今月初めの豪雨につきましては、県内の置賜地区をはじめとして新潟県でも洪水など大災害となりました。幸い櫛引地域では大きな被害はなかったものの、朝日地域では大規模な道路損壊が発生しております。しかしながら、櫛引地域や朝日地域の中山間地を中心に農地の冠水や土砂流入があったことから、水稻やそば、その他園芸作物の品質や収量等への影響が心配されるところであります。災害はいつ何時発生するかわかりませんので、改めて日頃からの準備や心構えが重要と認識したところであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、現在第7波が続き、感染が急拡大しております。本市では、8月に入りまして1日の新規感染者数が200人を超える日が5日(8/28現在)を数え、8月25日には過去最多の293人の感染が確認されました。荘内病院の病床使用率も50%を超える日が続いており、感染拡大に伴う医療機関業務のひっ迫を防ぐため、適切な受診について啓発を行っているところであります。また、市独自の取組みとして、「自宅療養者買い物支援事業」を実施しておりますが、その期間を9月末まで延長したところであります。対象は限定されておりますが、4回目のワクチン接種も始まっています。皆様には引き続き感染防止対策の徹底を、お願いしたいと存じます。

さて、櫛引地域の特産品であります果物については、ぶどう、なし、りんご等がこれから実りの秋を迎えます。一部6月に雹害が見られましたが、現在の生育については概ね平年並みとなっており、一安心しているところです。

今年には酒井家庄内入部 400 年にあたり、関係各所で様々な記念事業が行われております。櫛引地域では、黒川能の里王祇会館と丸岡城跡史跡公園が、記念事業と連携したミュージアムスタンプラリーの対象施設となっており、それに合わせた記念展示も予定されています。これを機に、多くの皆さんから両施設を知っていただくことを願っております。

本日の懇談会では、昨年度から健康増進施設として再出発した「くしびき温泉ゆ〜Town」の利用状況や利用拡大への取組、また、同じく昨年度から実証実験運行を開始した櫛引地域デマンドタクシー「くしびっき」の利用状況や、運行計画の見直し経過を報告させていただきます。また、「櫛引地域まちづくり未来事業計画」につきましては、これまでの取組状況を簡単に説明申し上げ、間もなく来年度予算の要求時期を迎えますので、委員の皆様から新たな事業等のアイデアなど忌憚のないご意見をお寄せいただきたく、この時期に開催したところでございます。

結びに、櫛引地域の振興、発展のために委員の皆様が日頃感じていることや、地域活性化に向けたご提言などを合わせてご発言いただきながら、限られた時間ではありますが有意義な懇談会となりますようお願いを申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 説明・報告

総務企画課長

それでは、3.説明・報告から 5.情報提供までは設置要綱第 6 条第 2 項の規定により小林幸一会長から議長となり進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長

それでは、暫時の間進行をさせていただきます。みなさんからはご協力のほどよろしくお願いいたします。最初に説明・報告という事で二つありますが、順次質疑をお願いしたいと思います。それではよろしくお願いいたします。

(1) くしびき温泉ゆ〜Town の利用状況について・・・別添資料 1

説明・市民福祉課長

(上記について、資料に基づきながら説明。)

(2) 櫛引地域デマンド交通の利用状況等について・・・別添資料 2

説明・総務企画課長

(上記について、資料に基づきながら説明。)

会長

はい、ありがとうございました。ゆ〜Town、それからデマンド交通について説明をいただきました。これらについて、委員の皆様からご質問等々いただきたいと思います。最初にゆ〜Townの事業について、みなさんから何かお気づきの点、あるいはもう少し丁寧にご説明をというところがあればご意見をいただきたいと思います。

A委員

すみません教えてください。ゆ〜Townの中で目標値令和3年よりも少なくなっていますが、たぶんコロナとかいろいろな影響あると思いますが、それはどうしてかという事と、普通目標値を下げるということは中々無いと思いますが、一番私として心配しているのが、どの辺までだと採算が取れて継続ができる範囲なのか当然あると思います。その二つお答えいただきたいと思います。

市民福祉課長

令和3年度につきましては、コロナも終わり元年度並みの人数が出るのかなということで123,000人という数字になりました。令和4年度については運営経費から97,000人を目標値として設定していますし、これが採算が取れる人数となっています。尚、存続の判断をする経営指標値としては、80,000人となっています。

会長

A委員 いいでしょうか

A委員

目標値が97,000人といいますと、とりあえず目標値に対しての進捗率としては3年度の実績は上がっていると、目標97,000人このままいけば存続の心配をしなくていいということでしょうか。

市民福祉課長

存続の判断については、先ほど説明しました経営指標値80,000人と決めておりますので、これを割らなければ大丈夫と思います。

A委員

ダメなら料金を上げるということになると思いますが。わかりました。

会長

ほかにありませんか。

B委員

ゆ〜Townの割引券ですが、こしゃってマルシェとかいろいろ配っていただけていますが、使っている人が少ないと思います。なぜかという、割引券の期間が短すぎるとちょっと使ってもらえない、もう少し期間を長めにしてもらいたいということです。というのは、この間羽黒のいでは文化記念館に行きましたら、そこにも「ゆぽか」の割引券が置いてありました。それは使用期限が今年度末までとすごく長い期間でした。そこに行くお客様は県外の方が多いと思いますが、その位長いといつでも行けるのではと思いますし、こしゃってマルシェの時は、1週間くらい、そんなに長くなかったと思います。たとえばいでは文化記念館でしたら石段歩いてそのあと帰ってお風呂に入りに行けるとと思いますが、こしゃってマルシェだと当日中に行く人はそんなにいないのではないかと、もう少し期間が長ければいいなと思いました。

市民福祉課長

検討させていただきたいと思います。

総務企画課長

去年担当していましたが、期間をある程度短く区切っていたのは、それに対してどの位効果がでるのかの検証でした。あまり長いと検証できなかつたので、そういう意味も込めて期間を設定していました。貴重なご意見でしたので今後も宣伝していただくようお願いしたいと思います。

会長

ほかに、デマンド交通ではありませんか。

C委員

デマンド交通は大変良い事業だと思いますが、まだ地域に密着してないような所もあると思います。私は三川町の広報も取っていますが、三川町は運賃300円でこっちが400円で、使う方になると100円の差ですが、やはり抵抗があると思います。もし交通事業者で400円とすれば、差額を市で負担するとかそういう方法もある訳なので、とにかくせつかくのデマンド交通は良いので、今以上に利用する人も多くなると思います。ただ、ほとんど老人クラブの人が利用していると思うのですが、区長さん方ももうちょっとサポートしていただいて、そうすればもう少し利用も伸びるのではと思います。

会長

では運賃についてお願いします。

総務企画課長

運賃についてですが、400 円という事で高いということですが、庄内交通にゴールドパスというので、70 歳以上で月 2,550 円という優待制度があります。これを利用しているヘビーユーザーの方もおります。このゴールドパスを持っていると何回乗っても無料という制度です。こういう制度などをご活用いただきながら利用していただければと思います。運賃往復で 800 円ですが、月 4 回ご利用になりますと、元は取れます。こちらでも周知等しているところですが、よろしく願いいたします。

C委員

そういう事を皆さんに徹底していない訳です。片道 400 円という事だけで、そういう得な事があるのであればもっと PR してもらえばこちらも大変ありがたいのです。

総務企画課長

これからも PR に努めてまいります。ありがとうございます。

D委員

デマンド交通ですが、実利用者数が 21 名と説明ありましたが、登録者数はあまり変わっていないように思います。6 月・7 月は多少増えておりますが、ほとんど変わらない状況です。実利用者数が増えたということは無料回数券の効果が多分に見られると思いますが、これは無料券を利用していただけなのか、いや無料券なくてもこれからも利用して行くのか、その辺の判断をどう見ているのか。

総務企画課長

無料券を使用した方にいろいろお聞きしたのですが、やはり乗ってみると便利だというお声がありました。たとえばご夫婦で乗っていただいた方は、奥様は乗る必要なかったのですが、無料券と一緒に乗ってみようかとか、免許を返納していない方も乗っていただいて便利だというお声をお聞きしております。これからも必要に応じてご利用いただけるものと感じてはおります。

D委員

必須のユーザーが登録者の 1/3 というのが大きな課題だと思いますが、それと台数を増やしての 1 回当たりの平均利用が 1・2 名というのも 1 つの課題なのかと思います。その辺はどうでしょうか。

総務企画課長

登録者数に対して、実利用者数が少ないことについては、これからも掘り起こして行きたいと考えているところですが、無料券とかで利用した方々が口コミで「便利だっけ」というようなことで

広まっていたければなと思っております。あと、台数の関係ですが、今年につきましては契約が1年間ということになっているものですから、変更できませんが、10月から時間等変更して運行します。そこで改めて検証させていただいて4月からの運行に反映させていきたいと考えているところです。

E 委員

資料を見ると1台当たり多くて2人いくかいかないかですが、まあ貸し切りみたいな感じで、利用する方からは非常にいいのかなと思います。他の地域でもこういったデマンド交通やっているとありますが、他の地域の乗車率はどのなのでしょう。

総務企画課長

他の所はデマンドバスをしている所もありますし、このようにタクシーを利用している所もありますが、はっきり申し上げまして櫛引よりは乗車率がいいです。櫛引の方があまりにも4月良くなかったものですから、何とかしろと内部の方からも言われており、こういう拡大策等を講じたわけですが、たとえば温海とか東栄地区は利用率がいいのですが、定期バスが無くなったタイミングでデマンドを導入したところだと、バス利用をしていた方がそちらの方へ移行して多いという所もあります。

地域振興課

地域振興課で公共交通担当しております齋藤と申します。よろしくお願いたします。

先ほど総務企画課長がお話した通り各地域で様々な交通モードがございます。たとえば羽黒と朝日でしたら市営バス。藤島、櫛引はデマンド交通。温海につきましては定期路線バスとデマンドのハイブリッドになり、温海は4路線のうち2路線がバスと同じで時間で走る。2路線がデマンドと同じで注文で走るといった形になります。先ほど総務企画課長も話しましたが東栄地区、温海地区については庄内交通のバスが廃線と同時に走ることになりました。朝日地域についても同様です。櫛引地域についてはこれまで交通空白地帯であったため、それなりに自ら移動手段をその間に確立されていたと考えられます。乗車につきましてはバスですと、やはり時間帯では乗っていないという便もございます。デマンドにつきましては、注文により走りますので1人以上は乗るといった形になっております。今の所一番利用率が高いのは温海地域になっています。東栄地域につきましても10年位なっていますので、それなりに地域に根差してきています。

会長

はい、他に無ければ次に進めさせていただいてよろしいでしょうか。それでは次に4.協議に入らせていただきます。説明の方よろしくお願いたします。

4 協 議

(1) 櫛引地域まちづくり未来事業について・・・別添資料3及び別冊資料
(上記について、資料に基づきながら各担当課長説明。)

会長

はい、説明は以上ですね。一部完了した事業もあるようですが、資料No.1から15までありますが、完了した事業も含めて皆さんから何か質問等ありましたらお願いいたします。

F委員

11番の花いっぱい運動ではないのですが、サルビアの他にゴーヤの苗も多くの人に配布して植栽をやっていますが、この事業の中には無いようですが、ゴーヤに関して内容はどうでしょうか。

市民福祉課長

ゴーヤについては、環境保全推進員協議会の方でやっている事業になります。庁舎の方で事務局持っていますが、皆さんから好評いただいています。

F委員

環境美化推進事業とはまた違っていると。庁舎の前のゴーヤ植栽を見るとすごく立派なので、結構な人に配布して、個々に作っていると思いますが、作った人で品評会ではないですが、立派に出来た人を紹介するとか、何かやってもいいのではと思いました。

市民福祉課長

全市的には環境フェアというのがございまして、グリーンカーテンコンテストを行っています。

会長

他にはありませんか。

G委員

今の花いっぱい運動の件ですが、サルビアが連作障害がつき始めて、植え始めて何十年もなっているのですが、一応櫛引地区の花という事で皆さん一生懸命取り組んできた事業です。期間も長かったことですから、これから花の種類を変えていくという、アンケートの結果次第でそういう可能性もあるのでしょうか。あくまでもサルビアで土壌改良して植えていくというのかその辺知りたいと思います。

総務企画課長

今回アンケートの原案出来ていまして、明日コンクールということで各地区を回り、その休憩時間に委員の方々からアンケートを行ってもらおうなっていますが、第一段階として、今後どうしていきたいか、地区でどういう風に考えているかという事を調査いたしまして、花の種類については次の段階でいろいろと調査をしていきたいと担当者の方からも話をしているところです。

総務企画課長補佐

連作障害ということで、去年からモニタリング調査をしていました。一部生育がどうも悪い所にマリーゴールドとコキアを、セブンイレブン前とか転換して何年か連続して植えてまたサルビアに戻したら大丈夫となればという事を長期的な視点で取り組んでいるところです。

G委員

わかりました。

会長

他にありませんか。

D委員

No.3 鶴岡市南部エリア観光周遊ルート魅力発信事業について観光協会の方からですが、産業建設課長より説明いただきましたが、3 地区ということで表題には載っていますが、それよりも一番重要な所で、1 つのラインとして朝日と交流したいとなっていますが、朝日の観光協会の会長さんと電話連絡を取りながら話していました。以前にもこういう取り組みがひとつあったということではなかなか上手く進まなかったということでした。これがどういう理由だったのか気になるころがありました。今改めてやるとなるとどうしたらいいのか、お互いに話し合いの中であれしよう、これしようというのは即座には難しいのではないかと、そういう中でいま何が課題なのか、何を目指していくべきなのか、お互い共通点はどうか、双方の評価はどのように評価しているのか、朝日から見た櫛引はどうか、櫛引から見た朝日はどうかと、そういうところからスタートした方が面白いのではないかと話していたところです。ぜひいろいろな情報交換しながら実現したいと思っていますので、よろしくお願いします。

会長

前はD委員から予算をつけてほしいということでしたが、それも含めてどうでしょうか。

産業建設課長

庁舎が段取りをして会長さんとお話しすれば良かったのですが、遅れていて申し訳ございません

でした。9月以降庁舎と榎引、朝日双方交えて話し合いを進めてまいりたいと思います。最初から一気に難しいと思いますがよろしく願いいたします。

D委員

よろしく願いいたします。

会長

はい、よろしいですか。どうぞ

A委員

No.10 希少淡水魚イバラトミヨ保存事業ですが、その中に絶滅危惧種IB類というランクになっていますが、このランクがどのくらいのランクなのか、レッドリストとかありますが、このくらいの分類の中に入っているのであれば、榎引だけでなく他の、たとえば国とかから保存の為の予算とか出ないのかなと思ったのですが、どうなのですか。

総務企画課長

記録を調べたところ、以前国交省の方に絶滅種の保存とかをお願いした経過があったようですが、今このような状況になって当時資料を見直していたところですが、国からの支援はありませんでした。

A委員

今このままずっといったら、絶滅危惧種でなく絶滅種になりそうですが、市で出す予算はこれ位が限度なのかなと、非常に少ない金額なのでこのままいったら本当に絶滅になってしまうので、少しでも国とか県から予算を貰えればと思ったのです。ありがとうございます。

会長

はい、どうぞ。

C委員

No.10 のイバラトミヨですが、だいぶ前にも庁舎の議会でもいろいろありましたが、立ち消えみたいになって、お題目を上げてても継続性が無いと結局こういう結果になると思いますし、私は大変良いことだと思います。人が代わって全然無くなるというのは困るのです。

総務企画課長

今コロナの関係もあるかと思いますが、前は南小学校でも見に来ていたとか、いろいろ学習して

いたという事でしたが、その辺も薄れてきていますし、こちらの事務局と板井川の関係者との関係も薄れてきているということでした。その辺をもう一度再構築させていただいて継続して行きたいと考えているところです。

H委員

No.16.No.17 について、予算の伴わない事業として実施しているということで説明がありませんでしたが、まちづくりにおいて非常に重要な 2 項目だと思いますので、簡単に説明いただけるとありがたいです。

市民福祉課長

No.16 のいきいき健康活動拠点運営の支援事業についてですが、高齢者の健康維持、生きがいくくりなど、各地区で活動している老人クラブ等の事業の参考になるような講座などをまとめたリストを作っています。それを配布して参考にしてもらい事業を実施してもらおう事業です。

総務企画課長

No.17 山添校閉校後の跡地活用ですが、県の方に訪問して意向確認等行ってきておりますが、県の方でも、南高と北高が中高一貫校になるということで、今南高を建て替えています。その関係で山添校を活用する意向があるということで、現在庁舎内、関係部署と打合せ等ではありますが、話が進んでいないところです。

会長

よろしいですか。

H委員

わかりました。

会長

他にありませんか。

G委員

今のNo.16 の高齢者のお役立ち講座リストですが、これは何処に配布されている物なのでしょうか。一般には配布されていないと思いますが、各福祉施設とか福祉センターとか庁舎の総務課とかにあるのでしょうか。すごく気になる内容なので。

市民福祉課長

各区長さんには3部なり、4部なり作って活用して下さいと配布しています。

G委員

区長さんとなると、各地区の活動範囲が限定になるので、できれば他の団体さんにも使えるように福祉課とか、たとえば総務企画課内に置くとか、そうしていただくと私たちも参考にしたいと思うので、そういう講座を活用したいと思いますが一度も見たことがないので、何処にあるのだろうと思いました。なかなか区長配布だとわれわれまで、一般の人まで伝わってこないし、こういう物を配布している事も知らなかったの、ぜひもう少し広く使用出来るようにしてもらえたらありがたいです。

市民福祉課長

わかりました。

会長

他にございませんか。何でも構いませんのでお願いします。

F委員

何でもよかったです、No.13「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業について、産業建設課長が丁寧に説明しましたが、若干補足説明とPRを兼ねて説明したいと思います。この「でわ宝」プロジェクト事業に予算を付けて実施しております。ふるさと村宝谷のふれあい広場というキャンプ場がありまして、7月に炊事場の照明を設置してもらい、さらにテント設営するキャンプ場の所に、人が動くとき点くような人感センサーのライトを電柱2本建てて貰いました。非常に良かったと思っています。今まではキャンプ場に何も照明がなくて、夜活動するとき、木の根とか枝とか落ちていたりところとか非常に危険だったのですが、キャンプしている方が動くとライトが1分間位点くようになって、2機設置していただいて非常に感謝申し上げたいです。

コロナで、そば屋だとか宿泊客とか少ない中で、キャンプ場だけが去年から今年にかけて賑やかにお客さんが殺到とまではいきませんが、土曜日、日曜日予約が入っています。1人、2人の少人数のキャンプですがライトを点けてもらったことでとてもありがたいと思っています。

あとはふるさと納税で宝谷そばのブランド化を狙って頑張っていますが、宝谷そばの乾麺をふるさと納税の返礼品で、全国に宝谷の「でわ宝」の乾麺が広がればいいかなと思っています。いよいよ今年10月頃から出せそうな状況になっています。出しましたら皆さんからも利用して貰えたらありがたいと思っています。あとは、9月17日にそばの花が咲く時期に、そばの花のお花見をしたいということで、キャンプ場に来て見て貰って、宝谷にはそばと自然しかないのですが、9月17日そばのお花見カフェを計画していますので、時間がありましたら見ていただきたいと思っています。

それから1週間後に、宝谷ウォーキングイベントということで、9月23日にふるさと村を中心に、宝谷の地区内を畑や田、山など一周するようなウォーキングイベントを計画しています。自然しかないですが、ぜひみなさんから来ていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

会長

はいありがとうございました。

B委員、No.1のくしびきフルーツ振興プロジェクトについて、何かあればお話してもらいたと思います。

B委員

フルーツの方は、私は「くしびきフルーツ日記」ということで情報発信をしています。櫛引の農家さんたちが、果物をどうやって作っているかとか、取材して日記形式にしてSNSにアップしています。今年で4年目ですが、結構皆さんから見ていただいているありがたいです。毎年、毎年「くしびきフルーツ日記」を本にして販売していますが、あぐりとか、いろいろな所に置いてもらっています。

会長

ありがとうございました。他に何かありませんか。はいどうぞ。

C委員

みんな大変いい事業ですが、これには予算が伴う訳なので、その辺を考慮して継続するには、言うだけ言って実行するのは難しいというのではなく、宝谷のそばの話を伺いましたが、ある程度そういう面で協力していかないと実行出来なくなってしまうので、その辺をよく考えていただきたいと思います。

支所長

頑張らせていただきます。

会長

A委員 はいどうぞ。

A委員

先ほど、H委員からもお話ありましたが、No.17の山添校閉校後の跡地活用ですが、前にもたしか話したことがあったと思いますが、今年民生委員の方で三川町のテオトルという子どもたちの施設に見学行ってきました。3年前にも東根市の方にも同じような施設があるのですが、行ってみると、

まあ新しいという事もあるのですが、これだったらすごく子どもたちが利用しやすいなと感じました。どうなるかわかりませんが、できれば跡地など、今後どんどん少子化になってそういった部分を、子供たちがどこかに集まって遊べるような場所が絶対必要になってくると思います。そういった部分で少しでも県として反映してもらえればと思います。鶴岡市はどうしても単品、単品で、これはあそこに作ります。これはあっちに作りますと、複合的なところが意外と少ないので、ある程度土地とか制約があると思いますが、今後はあそこに行けば出来ますよという形で、極論になりますが、そういう施設とあぐりとかを結び付けて、広域な部分で考えて、もう少し大きい形で人を積極的に集めていけばいいものが出来るのではと感じます。要望として考えていただきたいです。

会長

はい他になければ、5分間一度休憩と換気をしましょう。

5 情報提供

会長

それでは、5情報提供になります。二つありますが、最初に（1）生涯学習センターの耐震改修事業について説明をお願いします。

（1）櫛引生涯学習センターの耐震改修事業について・・・資料4

説明・総務企画課長

（上記について、資料に基づきながら説明。）

会長

設計は終わっていますか。

総務企画課長

はい、耐震の部分は終わっていて、改修の方を今設計しているところです。

会長

令和5年度 春から工事に入るということですか。

総務企画課長補佐

予算が付けばですが。まだこれは3月議会が終わらないと分からないところです。

会長

これは国の助成も入るのですか。二重になるから駄目なのか。

総務企画課長補佐

起債はありますが、補助金は入る予定はないです。

会長

これについて皆さん方から何か、利用等も含めてありませんか。

G委員

現在だと学習センターを婦人会で利用するとき、使用料金発生していないのですが、料金が発生しない施設というと王祇会館しかないのでしょうか。毎回料金が発生すると、私たちも会合とか開きにくくなるので、どこかお金のかからない所を探さないといけないのかなど、危惧しているところです。他に料金の発生しないような施設等がありましたら紹介していただきたいと思います。

総務企画課長

その辺につきましては、今担当者が調査しながら、たとえば減免なども、どの団体だったら出来るかとか、そういう事を各施設に問合せしているところですので、資料等も分かり次第皆さんにお知らせする形になると思います。

A委員

災害時避難する場合、資料5の11Pには各中学校、小学校となっていますが、前に避難指示とか警報なった時に、高齢者の場合一時的に、もし心配であれば避難して下さいと、確か学習センター二階に来たことがあったのですが、その場合2ヶ所だけだったのですが、ここが使用出来なくなった場合、代替地というか場所も記載なっていますが、泊まる所で冷暖房完備しているというのと、たぶんスポーツセンターなのかなと思います。あそこだと下の畳の部屋になるのかと思いますが、基準もわからないので話していますが、災害もいつ起きるかわからないのでそういった部分も、優先的に考えてほしいと思います。

総務企画課長

はいわかりました。

会長

それでは、最後の(2)広域コミュニティ組織についてお願いします。

(2) 広域コミュニティ組織の検討について・・・資料5

説明・総務企画課長

(上記について、資料に基づきながら説明。)

会長

説明は以上でしょうか。この議題については、昨年の第 2 回の地域振興懇談会でも話題となり、ご意見等もいただきました。それ以降そんなに進んでいません。ただ区長会に提出された資料の中では、活動開始予定年度を令和 8 年から令和 6 年度へ前倒しすることになっています。積極的な市の姿勢が伺えました。区長会としては、これから広域コミュニティについての会議等も行いながら進めたいと思っております。この機会に皆さんからご意見をいただければと思います。

自治公民館連絡協議会の I 委員どうでしょうか。

I 委員

資料の 21P のゴールに辿り着くには今後の進め方で、①の器（組織）を作ってから決める、②の中身（何をするか）決めてから作るとありますが、方向性は決まったと思うのですが、中身とは広域コミュニティとは何かという部分から始めて整理し理解しないと、なかなか地域に戻っても、まかせっきりで終わってしまうという事のないよう考えながら進めてもらいたい。

支所長

ぜひ、その方向で、組織を作ってから、はて何をさせるかとはしたくないと思っておりますので、その辺は心して向かいたいと思っております。

会長

私から言わせてもらいますと、前も申し上げた通りこの表現自体には違和感があります。私どもも勉強しながら進めていただきたいと思います。

支所長

共に検討して同意しながらしていきたいと思っております。

会長

どうでしょう、他にありませんか。はいどうぞ。

D 委員

実際なるとどうなるのか、なかなか見えない部分があるのですが、身近な所で黄金地区を事例にした場合、コミセンでいろいろな事をやっている訳ですが、旧態依然にたとえば谷定なら谷定、宝谷なら宝谷、各地区の公民館もそのまま、そこでそれなりに活動している。それじゃ今とどこがどう違うのかなかなか見えにくい、分かりづらいというのが現状なのではないかと。文化事業にしてもそこそこでやっている事業もあるし、全体としてもやっているし、考えると二重手間で行っているのではないかという言い方になりはしないか。じゃ広域でやりますかと言った場合、私の方は

関係ないという形になりはしないか。その辺をどういうふうに仕分けしていくのか、やっていかな
いと分からない、見えないという思いがあります。

総務企画課長

各地区公民館の方からも実績報告いただいて、その中から事業などを拾って、比べてみたりして
いますが、その中に合同で出来るような、広域で出来るような事業は無いかと事務局の中で検討し
ながら、そういうものを紹介させていただきながら、さらに検討していきたいと考えているところ
です。例えば、合同祝いというのが櫛引の各地区であるようなのですが、私は羽黒ですが、合同祝
いというのが分からなくて職員に聞いたところ、七つ祝いということで各地区で行われているそう
です。これを子どもたちが少なくなってきたのでこの七つ祝いを集まって出来ないのかなと話
をしたところ、各地区のお宮にお参りをする。それがお祝いだから、合同は出来ないじゃないかと
いう話がでたのですが、たとえばお宮参りはもちろん大事なので、午前中に各地区のお宮にお参り
をして、お祝いだけを合同ですという事も考えられるのではないかなと、1つの例で申し訳ない
ですが、そういう事業をいろいろ考えていく事ができないかなと考えています。

D委員

適切な例では無いと思います。合同祝いというのは、その地区、その地区で若干の違いはありま
すが、どちらかと言うと通称「厄払い」という言い方で、女性でいえば、33歳、42歳、49歳、61
歳等々、そういう長寿を祝う会であったり、最初の七つ祝いを組み合わせるような形であったり、
その地区で若干の違いはあると思いますが、そういう形で行っている所が多いのではないかなと思
います。

I委員

私は、それは生活改善から始まった事業だと認識しています。他の方でやるといろいろ掛かるも
のだから、厄払いしかり、七つ祝いしかり、いろいろな祝い事を合同でやったらどうかと、生活改
善協議会があげたと記憶しています。

支所長

共通して少子高齢化と言われてきましたが、それに加えて最近人口減少も言われてきています。
そうした時に地区で今まで通りやるものと、広域でやるものと仕分けをすると言いますか、そうい
う風にして持って行った方がいいのではないかなと思っております。広域コミュニティ組織が出来
たからすべてを広域でやるというのでは無くて、これは広域でやった方がいい、これは地域でやっ
た方がいいという形で、仕分けをする事の方が重要だなどと思っておりますので、その辺は意見を交
わしながらと思っておりました。

D委員

その辺は分かりますが、大変微妙な問題がいっぱい介在するのではないかなと思います。

会長

私は、むりやりなんでも広域コミュニティでやるものではないと思っております。自分の集落でやれることは変える必要はなく、続けていけばいいと思います。ただ集落だけでは出来なくなってきたものを広域で助け合いながら行なう。それが広域コミュニティだと思います。

これからコミュニティを進めて行く中では、検討会を立ち上げることになります。地域振興懇談会の委員の皆さまは検討会の委員になられる方々だと思います。日頃考えておられることをご発言いただければ大変ありがたく思います。

ありませんか。閉じてもいいでしょうか。

総務企画課長

ありがとうございました。

6 その他

会長

それでは、その他ございましたらお願いします。

D委員

先ほど人口の問題があつて、資料開いて改めてビックリしてしまったというのが現状なのですが、合併当初、当然その当時から人口減少というのが、大変大きな問題であつて、それから15年も経ったら、かたや半分なつたという地域が出てきたということは大問題だと思うのです。私も一部関わった一人としても、凄く反省しております。先ほどの地域振興事業に関しても、大変盛沢山でいろいろと、細々と考えられていると思いますが、やっぱり合併して中央は良くなつたけども、地方は捨て去られたという感が拭えないという気がします。予算的にも周辺が活気づかなければ、中央もダメなんだという意識がなければ良くなれないんじゃないかなと、その為には人口減少をどう風に食い止めて行くのかを本当に考えないといけないと思うのですが、皆さん真剣にやってくれてると思いますけども、これからのこの地域を考えたときに半分なつたらどうなるという話が当たり前の様に迫ってきているのが現実なので、子どもだって稀な位で、我々に意見やアイデアを出してくれと言われても中々出て来ないのですが、ぜひこの辺もやって貰いたいし、あと周辺の活性化にやはり予算を付けないと何も生まれてこないのではないかと気がします。お金が全てではありませんけども、予算も大事だと思うので、大いに付けていただくよう努力していただきたいと思います。

支所長

人口減少の要因として、自然減と社会減というのがありますが、今のところ自然減の方が多いのです。自然減というのは、出生する子どもの数よりも亡くなる方の人数が多い。その部分で丁度そういう時期に当たっているのかなと思っておりました。あともう 1 つ周辺の人口が減るとというのが、地域によって事情が違いまして、朝日の場合はやはり雪が原因となって、雪の処理というのが負担になって家族みんなで、例えば櫛引に家を建てるとか、鶴岡地域に家を建てるとか、そういう方が多いと感じています。あと温海については、職場の通勤が大変だという事で若い人たちは鶴岡地域に移っているけども、高齢者の方は住み慣れた所がいいということで温海に残る、そういう例が多い様感じます。いずれにしても移る先が合併して鶴岡市となったので、別にためらいが無いというかそういう風なところも少しあるのかなと感じていました。仰るとおり、だからと言って地域が元気がなくてもいいのかというのでは無いと思いますので、それについては私どもも頑張っていきたいと思います。鶴岡市としても一度出た若者が戻ってくるような仕組み、これを作らないとダメだという事で、一定の要件を満たせば、奨学金の返済分を補填するという制度もありますので、そういう制度などもいろいろやっていくみたいです。先日新聞に載っていましたが、庄内の方で若者が帰ってくる率が高い。でもそもそも庄内から出ていく率も高く、雇用とかそういう物も重要だなと思っております。

会長

他に発言したいかたございませんか。先ほどの中高一貫校については説明出来ますか。

支所長

子どもの数が減っているものですから、高校の数を減らすという事で、北高と南高を一緒にすること、合わせて中学校からそのまま持ち上がりでその高校に行くという、高校が 100 人だから中学校も 100 人かというところでは無いようですが、エスカレーター式に行けるような中高一貫校という制度ができます。内陸の方でも東桜学館ですか、そういう制度がありますけども、今の高校の新一年生から始まるようです。制服も同じになったようです。2 年後にそういう仕組みができます。

C 委員

そうすると、中学校もそちらに行く子どもと地元の中学校に行く子どもと二通りなる訳ですね。

支所長

そうですね。

I 委員

中学校の部活動の今後の在り方ですが、学校では部活動を離すという事で、受け皿について案と

しては、スポーツクラブにと考えているようですが、それだけではなく、スポーツ少年団の延長でとかいろいろあるようですが、榑引中学校の部活も、榑引スポーツクラブに組み入れて、1つの大きなクラブ組織に育てて行く方向で進めて欲しいのですが、実際に榑引中学校の場合、榑引だけの問題では無いのですが、どういう方向で取り組もうとしているのか、また榑引の状況はどちらに傾きそうなのかその辺情報ありましたらお願いしたいです。

総務企画課長補佐

大変申し訳ないのですが、教育とかスポーツ部門については庁舎の所管事務には無くて、我々には情報が入って来ていない状況です。体育協会の関係で、E委員で情報あればお願いしたいと思えます。

会長

E委員、ありましたらお願いします。

E委員

6月に体育協会の理事会ありましたが、学校関係の理事の方からは、正直どうやったらいいかわからないという事で、文科省では早い話、先生の負担を減らすと言うだけで、あれしなさい、これしなさいという指導は無いのです。それで暗中模索の状態だということでした。これから県のほうからも出てくるとは思いますが、そういった状況です。多分考えられるのは指導者が給料を貰って指導者が来るという体制になるのではないかと思います。

支所長

部活動も今の中学校3年生は、59名だそうです。単独で学校で部活動を形成するのは可能なのか少し関係してくると思います。

会長

私などは、集落での育成会が、一つの中学校で行ってきた活動等がどんなことになるのか少し心配しています。

E委員

以前から名古屋の方でモデルとしてやっているそうですが、指導会社の方に全面委託して、学校施設は使うが、指導は教育の手を離れて、その会社が雇用するリストで1,600人位の人が担当するという事でした。そういった流れになるのではないかなと思います。要するに部活の民営化という事だと思います。そうすると今より親の負担は多くなるのではないかと思います。

会長

それでは、予定の時間となりましたので、進行は閉じさせていただいて、事務局にお返しいたします。

7 閉会

総務企画課長

会長、その他も含めてどうもありがとうございました。その他は今話した中身でよろしいでしょうか。それでは、次回の懇談会の開催予定でございますが、2月下旬に開催したいと考えておりますので、改めてご案内をさせて頂きたいと思っております。

以上を持ちまして、今年度第1回の榎引地域振興懇談会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

終了 16時00分